



学校だより 11月

横浜市立新井小学校

No. 505

令和2年10月30日

TEL 383-3455

FAX 381-7372

(URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/arai/>)

いまだからこそできるようになる

ふくこうちょう ひろせ ゆみ
副校長 廣瀬 ユミ

10月3日、新しいスタイルでの新井オリンピックが行われました。たくさんのご協力やご声援、本当にありがとうございます。ご不便も多々あったかと思いますが、保護者の皆様から頂いたアンケートには、学校に向けたたくさんの温かい言葉が書かれておりました。本当にうれしくお思いました。5、6年生のソーラン節が見られなくて本当に残念でしたという感想も寄せられました。保護者の方々のみならず職員も同じ気持ちでした。しかし、安全で安心できる開催方法を皆で考えた結果、午前開催の入れ替え制にいたしました。そのような中で、校舎内にいる子どもたちは他学年の様子をテレビ画面で見ながら一生懸命応援をしていました。私は7月号の巻頭文の中で新しい環境の中で楽しみ方を見つけていきたいと述べましたが、子どもたち自身が自然に新しい楽しみ方を見つけてくれたことに感動しました。十分満足することができなくても、一人ひとりが思い出を作り、子どもの成長につながる教育活動にしていくことが大切だと感じました。

後期の始業式。校長先生が、自分のものだけでなく他の人の上履きもそろえている子どもがいるという話をされました。一人の行動からどんどん他の子どもたちに広がり、新井小の靴箱を見ると、ほとんどの子どもたちの靴のかかどが「ぴたっ」とそろっているのです。新井小の子どもたちの素晴らしいところがまた増えました。

現在、私が子どもたちとの関わりの中で新たに行っているのは、マスクをしながらも目を合わせて会釈をすることです。マスクをしていると相手に自分の声が伝わりにくい。それならば勇気をもって目を合わせ、会釈をしてお互いの意思疎通を図る。難しいことですが、これも新しい環境だからこそできるようになることだと考え、1年生から6年生まで子どもたちと会うたびに行っています。

先日、安全パトロール隊の顔合わせと感謝の会を同時に行いました。会の中では、学校を代表して一年生の感謝の気持ちを綴ったメッセージカードが贈られました。また今年度は、安全パトロール隊の方々から円滑に活動に取り組んでいただけるよう、保土ケ谷区の「NPO法人 元気な地域人の会」より助成金をいただき、反射指導旗を購入させていただきました。話し合いの中で、子どもたちと挨拶を交わし合うことが地域の元気につながるという言葉がありました。校外でも互いに会釈をしたり、気持ちのこもった挨拶をしたりすることができる新井っ子にしていきたいと考えております。